

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年7月11日

JAMA:新型コロナパンデミック：

カリフォルニア州では、低収入層ほど平均寿命が短縮、人種差も著明

【松崎雑感】

世界の多くの国で、コロナパンデミックにより、2020年以降、平均寿命が大きく低下しています。アジア系の寿命低下は白人よりも少ないなど人種による差も結構ありますが、これは修正不可能な因子です。問題は、やはり、経済格差が人種差に匹敵あるいはそれを上回る寿命短縮をもたらしていることです。経済格差は中長期的には修正可能な因子です。

新型コロナパンデミック：

カリフォルニア州では、低収入層ほど平均寿命が短縮、人種差も著明

Schwandt H, Currie J, von Wachter T, Kowarski J, Chapman D, Woolf SH. **Changes in the Relationship Between Income and Life Expectancy Before and During the COVID-19 Pandemic, California, 2015-2021** [published online ahead of print, 2022 Jul 7]. **JAMA.** 2022;10.1001/jama.2022.10952. doi:10.1001/jama.2022.10952

要旨

2015年から2021年のカリフォルニア州人口統計のまとめ。

経済格差：コロナ前は、貧困層は富裕層よりも10年平均寿命が短かったが、コロナ後、その差は15年に増加した。

人種差：平均寿命低下年数は、アジア系と白人系がおよそ3年。ラテン系、黒人系では4～5年。

新型コロナパンデミックにより、黒人とラテン系の人々の平均寿命低下が著明

